【定 例】　　提　出　　平成３０年8月１８日

山　行　報　告　書

山行報告：鎌 田

山　名：　火 打 山　（2462m）　　（新潟県・長野県）	
入山日：平成３０年7月２１日(土)　１泊２日　　帰宅予定日：７月２２日（日）	
プラン担当者　正：鎌田　　副：鈴木	
参加者：L：鎌田　報：鎌田　記：長澤 ＳＬ:鈴木 写真：平野 男４名 、　女０名、　計４名	
最終打合せ：　　７月１０日（火） 雨天中止・順延の連絡：７月２０日（金） ２１時までに（メール）で連絡	

記　録	集合時間：　午前６時００分　　集合場所：大宮駅西口パチンココトブキ前
７月 21 日（土）	大宮駅前６：05 出発→6：40 関越道→7：20 上信越道→9：22 妙高高原 IC →9：54 笹ヶ峰キャンプ場→10：20 キャンプ場出発→11：20 黒沢→13：43 富士見平→14：45 高谷池テント泊
７月 22 日（日）	3：30 起床→4：05 高谷池出発→4：20 天狗の庭→5：32 火打山山頂 5：55 →6：52 天狗の庭→7：20 高谷池（朝食）→8：30 高谷池出発→9：15 富士見平→10：50 黒沢→11：39 笹ヶ峰キャンプ場～13：30 杉野澤温泉苗名の湯 15：00→20:10 頃大宮着
装備と食糧	**共同装備**：テント（2）、ツエルト（3） **個人装備**：シュラフ一式マット、銀マット、ヘッドランプ、雨具、防寒衣、コンパス、地図、携帯、手袋、ストック、テルモス、コッフェル、新聞紙、ごみ袋　バーナー 燃料 **個 人 食**：21 日昼夕食、22 日朝食、昼食、行動食、非常食、水
感想	初日は、少し早めに大宮駅前を出発し、笹ヶ峰キャンプ場を目指して関越道を急いだ。幸い渋滞もなく予定より１時間早く笹ヶ峰に到着。あらかじめ作っておいた登山届を提出して、すぐに登山を開始。 １週間ほど前に地元の観光協会に問い合わせたところ、高谷池のテント場は、ハイシーズンの土曜は、11 時に笹ヶ峰を出たのでは、もうテント場は一杯で、張れないだろうと脅かされていた。 折良くヒュッテのほうは、キャンセルが出たというので、あらかじめ宿泊の予約を入れておいた。3時頃までには高谷池ヒュッテに着ければ、テント泊が可能だろう。高谷池までは、４時間ほどの行程だ。最初は緩やかな登り阪で、さほど （次ページへ）

	苦労はなかったが、徐々に坂がきつくなってきて、汗がだらだらと出てきた。 黒沢橋を過ぎた後、十二曲がりという急登があり、休憩をまめに入れながら ゆっくり登った。十二曲がりが終わると緩やかな登りとなった。富士見平を 経由して高谷池にたどり着いたのは３時前であった。テント場は、２０張ほどの テントがすでに張られていたが、二張のテントを張る余裕は十分に残っていた。 小屋泊まりのほうは、鎌田だけで、あとはキャンセルとなるので、その旨を小屋 の担当者に伝えたところ、若干お叱りを受けたが、観光協会の担当者とのやり取 りや宿泊予約に至ったやむを得ない状況を説明し、何とか了承を得た。 夕食をとったあと、翌日の行動予定を変更し、朝食前に頂上を目指すことと なった。翌朝は４時前に起き、まだ薄暗い中頂上を目指して出発。 20 分ほどで天狗の庭に着き、その後１時間半ほどで頂上に到着。 天気が良く、妙高山がすぐ隣に見え、遠く北アルプスの美しい山々も眺望する ことができた。 しばらくの休憩の後、高谷池まで降りて、テント撤収後、皆で朝食を食べる。 予定時刻より２時間ほど早く下山開始。昼前には笹ヶ峰キャンプ場に到着。 その後、杉野澤温泉「苗名の湯」に寄って、入浴後、もりの多いことで有名だと いうそばを食べてから、帰路に着いた。 関越道で途中渋滞があったが、早めに一般道に降りてなんとか８時頃に大宮駅前 に到着することができた。 　当初は、前日笹ヶ峰キャンプ場で泊り当日は山頂までピストンの計画であった が、高谷池でテント・小屋泊りとすることに変更したことにより、トラブルもな く火打山が可能となったと思う。 参加者をはじめご協力を頂いた皆様に心から感謝いたします。